

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	生産流通課
職	課長
氏名	江藤 秀明

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
消費者ニーズに沿った安全で良質な農産物の生産体制の強化	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
① うまい・きれい石川米づくり運動を進め、県産米の品質向上を図る。 ② 地域の条件に適した地域特産物づくりを推進するとともに、水田での転作作物の拡大を図る。 ③ 食品産業と連携した新商品開発等の6次産業化を推進する。 ④ 地産地消の推進						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①	1等米比率	85 %	R1 年度	90 %	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
②	園芸品目の共販金額	66 億円	R1 年度	87 億円	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
③	総合化事業計画の認定者数	6 件(累計)	R1 年度	16 件(累計)	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
④	奥能登食材直行便による販売額	45,789 千円	R1 年度	50,000 千円	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016



令和2年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 良品質で売れる米づくりの推進	地域の品質向上の課題を明確にし、実情に応じた品質向上対策を徹底することにより1等米比率の向上を図る。
② 特色ある園芸産地の育成	消費者・実需者ニーズに基づいて、出荷形態や栽培方法の改善に主体的に取り組む産地の育成を図る。
③ 6次産業化の推進	農林漁業者等による新商品開発や販路開拓、総合化事業計画の策定支援や情報提供等を行い、6次産業化の推進を図る。
④ 地産地消の推進	市場等と連携し、能登の食材を需要のある消費地(金沢)へ流通させる取り組みを通じて販路拡大を図る。